



2025巳年スタート気持ち新たに

# 2学期後半スタートしました！

## 次への「たすき」を繋げる

学校評価等から次年度準備へ

新しい年2025年、幕開けと共に2学期後半がスタートしました。6日新春のつどい、元気で明るい子供たちの表情が見えて、うれしく感じました。今年は、始業式給食がなく、2学期後半は、学校では一年のまとめの時期、3年生にとっては中学校生活・義務教育の総まとめの時期です。「次へのつなぎ」のためにも学校・保護者と連携して頑張ってください。

### 本校出身、2025年箱根駅伝で疾走！



今年のお正月は天候に恵まれ、初日の出も素晴らしかったです。初日の太陽が、力強く、ゆっくりと昇っていく様子を見て感動と勇気や希望をもらいました。毎年お正月には、学校へ出向いて感謝と安全を祈願をしています。この一年が素晴らしい年になるようにと今年も願いました。

私の正月の楽しみは、1月2日と3日に行われる箱根駅伝です。一生懸命走る大学生の姿に感動を覚えます。今年も様々なドラマがありました。1区での駆け引き、2区のエース区間でのゴボウ抜き、5区の山登りでの力走…、そして、一本の「たすき」を途切れさせないようにとチームのために必死に走る姿、走り終わった後にコースに向かって深々と一礼をする姿など…。この駅伝を通して、「どんなときにも全力で頑張る姿」「様々な人やものへの感謝の気持ち」「上級生が下級生に伝える伝統」など多くの学ぶべき点がありました。

また今年101回目を迎えたこの箱根駅伝。國學院大學から2人の県勢選手が出場したことに注目してました。

箱根駅伝復路、國學院大學「山下り」の6区を任されたのは本校出身・北山高卒業・3年生嘉数純平さん。6位で復路のスタートを切りました。力強い走り。しかし、初の箱根駅伝で、寒さに対応できず、順位を一つ落としなが、粘りの走りを見せます。

終盤の9区、5位でたすきを受けたのは、同じ本校出身・北山高卒業の上原琉翔さん。前半、区間賞ペースの猛烈な追い上げで3位まで順位を上げます。前をしっかりと見つめ走り続ける姿。後半に失速したものの、総合3位フィニッシュに貢献しました。

この2人は、中学校時代「九州・全国中学校駅伝大会」に出場し、沖縄県のレベルとの違いを痛感し、「日本代表レベルの長距離選手、駅伝選手になる」との夢を持って、北山高校へ進学。現在、國學院大學で夢実現に挑んでいるとのこと。夢に向かって頑張る郷土の先輩方の話、子供たちに家庭でも是非語っていただけたらと思います。

沖縄タイムス 正月版より一部抜粋

### 〇男子バドミントン完全制覇(おめでとう)

冬休みに那覇地区新人バドミントン大会が開催されました。本校男子バドミントン部が団体戦・個人戦(シングルス・ダブルス)で優勝。見事完全制覇を成し遂げています。

個人戦(シングルス)優勝「向井 朔」さん  
(ダブルス)優勝「國吉 快利」さん  
「嶺井 都鈴央」さん



